

湖西市社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成28年3月16日

計画の名称	1 湖西市における既設住宅ストックの改善（地域住宅計画）																															
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）					交付対象	湖西市																									
計画の目標	低所得者等の居住の安定確保及び公的賃貸住宅等の適切な管理を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。																															
計画の成果目標（定量的指標）	市営住宅への入居を必要とする低所得世帯に住宅を提供する。																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H28当初)</th> <th>(H30末)</th> <th>(H32末)</th> </tr> <tr> <td>住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 対象住宅への低所得世帯入居率＝（対象住宅への入居全世帯－対象住宅への入居収入超過者等世帯）／対象住宅への入居全世帯</td> <td>96%</td> <td></td> <td>100%</td> <td>※中間目標は任意</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H28当初)	(H30末)	(H32末)	住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 対象住宅への低所得世帯入居率＝（対象住宅への入居全世帯－対象住宅への入居収入超過者等世帯）／対象住宅への入居全世帯	96%		100%	※中間目標は任意					
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																													
	(H28当初)	(H30末)	(H32末)																													
住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 対象住宅への低所得世帯入居率＝（対象住宅への入居全世帯－対象住宅への入居収入超過者等世帯）／対象住宅への入居全世帯	96%		100%	※中間目標は任意																												
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	10 百万円	A	10 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																				

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
								H28	H29	H30	H31	H32			
A1 地域住宅計画に基づく事業(基幹事業)															
1-A1-1	住宅	一般	湖西市	直接	市	公的賃貸住宅家賃低廉化事業	(公営)上ノ原住宅 64戸分						10	—	
Ac 地域住宅計画に基づく事業(提案事業)															
A2 基幹事業(地域住宅計画に基づく事業以外の事業)															
合計												10			

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計												0					

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
										H28	H29	H30	H31	H32			
合計												0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32			
合計												0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

A'	0百万円	B'	0百万円	C'	0百万円	(C+C') / (A+ A' +C+C')	0.0%
----	------	----	------	----	------	------------------------	------

地域住宅支援

計画の名称	1 湖西市における既設住宅ストックの改善（地域住宅計画）	交付対象	湖西市
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）		

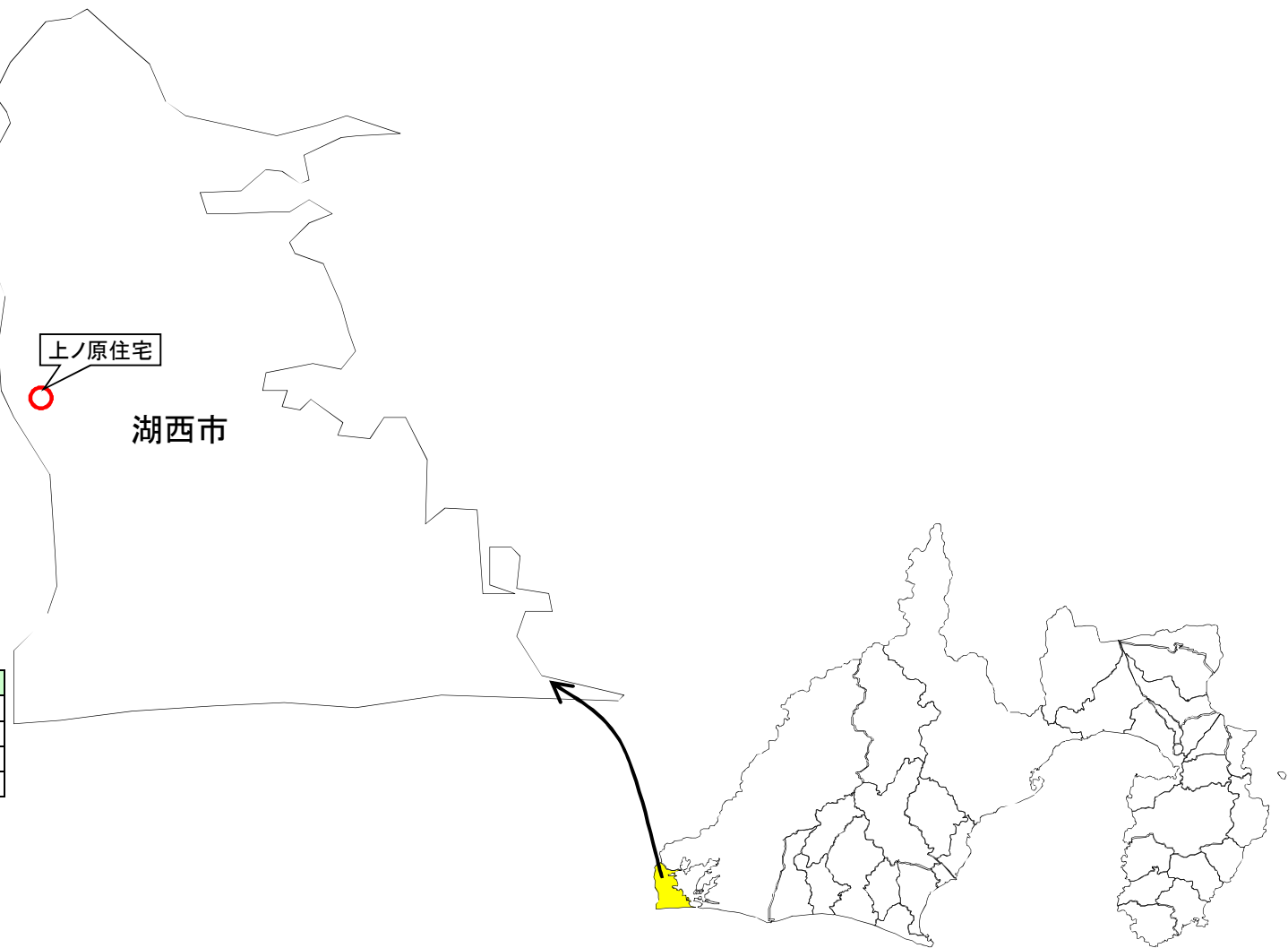
1-A1-1
 公的賃貸住宅家賃低廉化事業
 （上ノ原住宅 64戸）

上ノ原住宅

湖西市

社会資本整備総合交付金

区分	内容	
基幹	1-A1-1	公的賃貸住宅家賃低廉化事業
効果促進		



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 湖西市における既設住宅ストックの改善(地域住宅計画)

事業主体名： 湖西市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
★①計画の目標が基本方針と適合している。	○
★②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
★③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
★④関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
★①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
★②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	—
⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	—
⑥事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	—
⑦地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	—
⑧地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。 (評価結果として該当するものに○) ア 80点以上 イ 60～79点 ウ 60点未満	—
III. 計画の実現可能性	
★①事業熟度が十分である。	○
★②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
★③地域住宅計画を公表することとしている。	○
④地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	—
⑤計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	—
⑥計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	—